

環境 混ぜればゴミ、分ければ資源！

問 住民環境課 環境対策係
☎476-1111(127・128)

◆大崎町地球温暖化防止実行計画 平成27年度の結果について

1. 実行計画の策定目的

大崎町では、庁舎等における事務および事業について、平成24年度を基準年度とした『大崎町地球温暖化防止実行計画』(以下、『実行計画』)を策定しています。

この実行計画は、平成26年度から30年度までの5年間を計画期間とし、平成30年度における温室効果ガス排出量を基準年度である、平成24年度と比較して5%削減することを目標としています。

2. 実行計画の進捗状況について

実行計画に基づき、冷房使用時間の短縮などの取り組みを推進し、町の事務事業に伴う温室効果ガスの排出削減に努めています。

平成27年度に町の事務事業から排出された温室効果ガスは、平成26年度と比較して7.4%減少しています。

しかしながら、基準年度である平成24年度と比較すると5.25%増加しています。増加の要因は全体の約84%を占める電気の使用に伴う排出量の増が挙げられますが、電力使用量は平成24年度2,386,710kWhに対し、平成27年度は2,290,105kWhと4.05%削減(△96,605kWh)されているものの、火力発電量の増加に伴い電力排出係数が上昇(0.525→0.584)したことにより、温室効果ガスは84トン(6.74%)増加しています。なお、原因別の排出量は次のとおりです。

【原因別状況】

	平成26年度		平成27年度		昨年度との比較	
	排出量 (kg-CO ₂)	構成比 (%)	排出量 (kg-CO ₂)	構成比 (%)	増減量 (kg-CO ₂)	昨年比 (%)
電気の使用	1,437,102	85.34	1,337,421	85.76	△99,681	△6.94
ガソリン使用	68,359	4.06	53,103	3.41	△15,256	△22.32
その他	178,591	10.60	168,903	10.83	△9,688	△5.42
合計	1,684,052		1,559,427		△124,625	△7.40

3. 今後の取り組み

平成27年度の実績を重視し、引き続き全庁的な事務事業の見直しを行います。

また、省エネに対する意識啓発に努め、地球温暖化防止対策の意識の高揚と実践の徹底を図り、今後も温室効果ガス排出量削減のため省エネ・省資源化の取り組みを継続して推進します。

	平成24年度(基準年度)	
	排出量 (kg-CO ₂)	構成比 (%)
電気の使用	1,253,023	84.57
ガソリン使用	68,640	4.63
その他	159,923	10.79
合計	1,481,586	